

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	安芸高田市立小田東小学校	校長氏名	信末 実智則	生徒指導主事氏名	御影 英夫
-----	--------------	------	--------	----------	-------

取組事例名 『一年生歓迎遠足、縦割り掃除、地域ボランティア掃除、縦割り班駅伝大会』

取組のねらい『キーワード つながり・自覚』

- ・学校や地域の美化活動を通して、これからよりよい学校生活を共につくっていかうとする意欲を持たせる。
- ・縦割り班でルールを守りつながりを深める活動を通して、上級生としての自覚や下級生として協力していく態度を養う。
- ・お互いの体力や体調に気づかいながら、みんなの力でゴールすることにより、お互いのよさや協働して目標を達成することの喜びを味わわせる。

取組の具体的内容『キーワード ミッションクリア』

- ・縦割り班ごとに校区内の全 7 ポイントをフィールドワークしながら歩き、協力して各ポイントで示された指令（ミッション）をクリアして回る。回る順番は、次の班と重ならないように、班ごとにローテーションさせる。
- ・掃除の仕方を教え、学び、共同でやり遂げる活動を日々進める。
- ・自主的に地域美化活動に参加する機会を設ける。
- ・一本のたすきをつないで走る場を設ける。

取組の課題・創意工夫『キーワード チャレンジ』

- ・今年度、新たに地域ボランティア掃除を企画し、ボランティア精神の高揚を図ることにした。教員が企画したものであるが、その運営は児童会（企画委員会）に委ねた。
- ・縦割り班駅伝大会を、今年度初めて企画したものである。高学年の走力に学び、また、高学年のリードによる順番決めや配慮などから、新たなことにチャレンジする喜びを共有した。

取組の成果（効果）『キーワード 達成感・喜び』

- ・縦割り班で新入生を迎えて遠足をするという目的に沿って、安心して安全にかつ楽しいを視点に、高学年が 1 年生の手を引いたり荷物を持ったりするなどほほえましい姿が、それぞれの班でたくさん見られた。
- ・6 年生にとっては、1～5 年のすべての学年の児童を 1～2 人でリードしていくことをとおして、その難しさやできた時の喜びを味わうことができた。
- ・地域を美化する活動を通して、地域の良さを知り、地域の自然や環境を大切にしていこうとする心情をもたせることができた。
- ・今年度初めて「縦割り班駅伝大会」を実施し、走順や 2 回走る人を自分たちで考えるなど、縦割り班で実施することで学年を超えたつながりを強くしながら運動に取り組ませることができた。

今後の展開『キーワード モアチャレンジ』

- ・みんなで協力しながら環境を大切にしていこうとする心情をさらに高めるために、クリーン作戦（ゴミ拾い）を計画的に取り入れたい。
- ・縦割り班活動の充実とともに、今年度から、「誕生日カード」の取組を進めている。これは、誕生日を迎えた同じ班の児童に、班全員が書いたメッセージカードを渡すものである。これによって、児童が更に班員としての所属感や満足感を高めている。

他校へのアドバイス『キーワード モアチャレンジが新たな主人公を生む』

- ・今年度、新たに「地域ボランティア清掃」「縦割り班駅伝大会」等に取り組んだ。この時に、いつもと違った一面が発揮され、それを認め合う場ともなる。更に、それを地域の方が認めてくださる場ともなり、自己存在感を高めていくことができる。

「一年生歓迎集会」



「地域ボランティア」



「縦割り班駅伝大会」



「誕生日メッセージカード渡し」

